

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2015年10月3日(土) 9時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／6名(内、午前のみ1名、午後のみ2名) 事務局／1名 計 7名

● 午前

10月に入り、今日の金ヶ崎公園はすっかり秋の気配が深まっていて、真っ青な青空の下で快適な活動ができました。

先月に続いて市民自然図鑑の案内人の先生方は他の予定がありご参加いただけず、今日も午前中の参加者はエコウイング会員4名と事務局1名の合計5名だけでした。

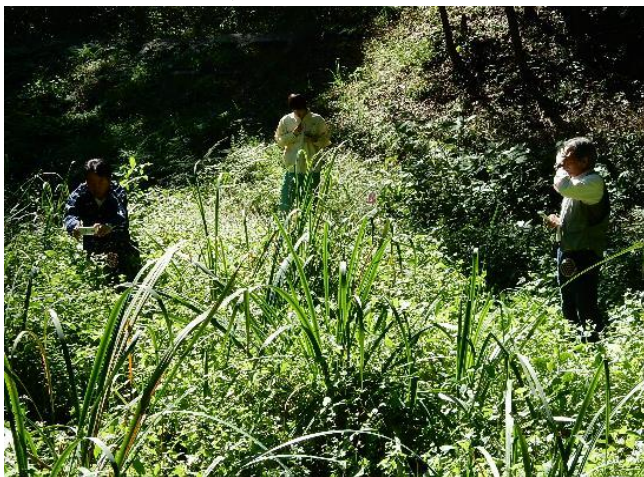
いつものとおり、午前中は参加者全員で公園内のコースを巡って市民図鑑の昆虫観察をしました。気温があまり上がっていなかったこともあって、観察できた昆虫は夏場に比べるとかなり少数でした。それでも、公園奥の水源地の池では、アサギマダラが2羽姿を見せてくれ、参加者一同大感激でした。

● 午後

午後は、まず公園入口付近の水路で繁殖し始めていた外来種の「オオフサモ」の駆除をしました。この夏の活動で一度駆除していたのですが、わずかに残っていた株がまた増えてきていたようです。

その後、今月の18日(日)に開催予定の環境フェアで使用するアベマキやコナラなどの「ドングリ」を全員で拾い集めました。その後、事故などもなく無事に活動を終え、会議室でひと休みをして午後3時に帰宅の途に就きました。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



姿を見せてくれたアサギマダラ(その1)



アサギマダラ(その2)



誰が放置したのか、何故か特定外来種の「オオフサモ」が繁茂しています。
このまま放置しておくと池全域に広がってしまいます。
今回で3回目になりますが、なかなか完全に除去できません。
…地道に手作業で続けるしかありません。

「オオフサモ」の駆除作業(その1)



「オオフサモ」の駆除作業(その2)



ドングリ拾いの様子



作業後のひと休み



- 次回の活動は、11月7日(土)の朝9時からの予定です。いつものとおり午前中は市民自然図鑑の昆虫観察、午後は里山整備活動を計画しています。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の観察会で撮影した昆虫などを紹介します。アサギマダラ以外にも、色々なチョウのなかまが観察できました。そのほかに、ガやハチ、アブ、アリ、コウチュウ、バッタのなかまなども姿を見せてくれました。

ウラギンシジミ



アオスジアゲハ



ナガサキアゲハ



ムラサキシジミ



翅が傷んだコムスジ



キマダラセセリ



イチモンジセセリ



チャバネセセリ



モンキチョウ



ホシホウジャク



ウスバツバメガ



ホタルガ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

キンケハラナガツチバチ♂



スズバチ



シマハナアブ



オオハナアブ



トゲアリ



コアオハナムグリ



ショウリョウバッタ



ヨフシハチのなかま幼虫が、シダの茎に作った泡巣



野鳥では、エナガやヤマガラ、ハクセキレイ、コサメビタキ、コゲラなどが観察できました。ふもとの北浦池では、カイツブリが水面を泳いでいました。

その他の生き物では、アマガエルが愛嬌のある姿を見せ、北浦池の近くの水路では珍しくカニの仲間を見つけました。

植物では、ススキの花が咲き、クサギやガマズミが実を付け、柿の実やツタの葉が色づき始めていました。キノコのなかまでは、シロオニタケ(毒キノコ)を見つけました。

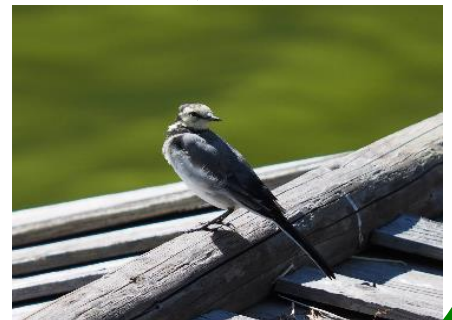
エナガ



ヤマガラ



ハクセキレイ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

コサメビタキ



コゲラ



カイツブリ



アマガエル



カニのなかま



ススキの花



クサギの実



ガマズミの実



色づき始めたカキの実



ツタの葉の紅葉



シロオニタケ



ホコリタケのなかま

